

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

【概要】

日 時：令和7年7月11日（金）午後7時～午後8時30分

会 場：本館2階 応接室

参加者：（委 員）新崎会長、井関副会長、佐藤委員、西村委員、堀田委員
（事務局）准校長、教頭、事務/課長補佐、首席、教務主任、記録

【配布資料】

- ① 学校運営協議会 次第
- ② 令和7年度 学校運営協議会 委員名簿
- ③ 学校運営協議会 実施要項
- ④ 第1回 学校運営協議会活動報告資料
- ⑤ 令和7年度学校経営計画及び学校評価
- ⑥ 令和6年度学校経営計画及び学校評価
- ⑦ 令和8年度使用教科用図書選定理由書

【内容】

1. 開会のあいさつ（准校長より）

2. 委員紹介（教頭より）

3. 報告

（1）学校概要について（首席より）

1. 在籍生徒数等についての報告
2. 進路指導（就職、進学）についての報告
3. 各分掌・委員会等より

教務

- ・ 式典規模の適正化継続
- ・ 大阪・関西万博の学校単位での招待事業へ参加

地域連携

- ・ いちご狩り（近隣幼稚園・保育園・御舟町自治会）
- ・ 近隣幼稚園からのお礼参りの様子
- ・ 地域の子ども食堂への本校農園野菜の寄付

生徒会活動

- ・ 任命式・地域清掃でのボランティア活動

部活動の報告

- ・ 軟式野球部 春季大会・夏季大会へ参加
- ・ 陸上競技部 全国大会予選/5000m 優勝 8月全国大会参加予定

その他

- ・PTA 活動・前期人権学習・体育祭・防災避難訓練/薬物乱用防止教室
- ・心肺蘇生法講習会・スーツ着こなし講座
- ・なごみカフェ/七夕行事等・はみんぐ南河内様からの笹の寄付

(2) 令和7年度学校経営計画及び学校評価について（准校長より）

前年度からの変更点

① 中期的目標

「生徒個々の状況に応じた遠隔授業」を追記

「スクールミッションやスクールポリシー等をもとに」を追記

「教職員1人ひとりの意識改革を進め、校務の効率化や教職員の健康保持・促進などに取り組む」を追記・変更

② 本年度の取り組み内容及び自己評価

「寄り添う教育」「わかる授業」へのための取り組み

「授業のユニバーサルデザイン化」の研修を行う予定

4. 令和8年度使用教科用図書選定理由書（教務主任より）

選定理由の報告

今年度は教科書の見直しが入り内容の改訂が行われている

5. その他

体育祭の生徒アンケート結果の報告

6. 協議（進行・新崎会長）

新崎会長より

丁寧に関わり添って生徒一人ひとりに合わせた教育をしていると感じる。

Q、追記された遠隔授業の36単位どういった授業を遠隔で行うのか？

A、病気等で学校に登校できない場合に3年間で36単位まで認定できる。

一人一台端末を用いた、遠隔授業は可能であるが、実技科目の遠隔授業方法の工夫が必要だと感じている。

Q、「分かる授業」「授業のユニバーサルデザイン化」の工夫とはどのような方法か？

A、夏休み中に研修を行う予定であり、職員も改めて学ぶ。

この時間は何をするのか、今、何を勉強しているのかを授業の最初からわかるようにする。

教室が全日制と共有のため難しいが、黒板に様々なことが書いてあるとそちらに気が散ってしまうので、何もない状態にできるとベストなのでどのように工夫していくか考え中である。

井関副会長より

Q、生徒数の推移について、在学学生はあまり減っていないが卒業生が毎年減っているのはなぜか？

A、学年により人数が大きく違うこと及び入学生が少ない年度があるため。

佐藤委員より

時代の流れに合わせ学校が変化していっているのは安心材料である。

Q、遠隔授業は自由選択できるのか？自己申告で受けられるのか？

A、特別な事情があり、認められた場合のみ受けることができる。

学校での様々なイベントやいろいろな方との交流は人間関係の形成になる。

スーツの着こなし講座も社会にでる意識がついて良いと思う。

昨年度、一昨年度に入社した卒業生も楽しそうに仕事をしている。

西村委員より

体育祭の写真の生徒がすごく生き生きしている。

地域連携などで地域住民と関わることも子どもたちの自己肯定感に繋がる。

分かりやすい授業の肯定的回答が年々上昇しておりすごいと感じた。

板書のどこを写せばよいのか、何をすればよいのか分からないと感じる

子どもたちを減らすためにも授業のユニバーサルデザイン化は大事だと思う。

堀田委員

1年生の時よりも分かる授業が増えたと、すごく楽しそうにしている。

時間もかかるし、難しいこともあると思うが、子どもが聞けないと感じた時に

先生方が聞けないことに気付いてほしい。まずは身近に先生を感じてほしい。

時間のない中かもしれないが子どもたちに声をかけてもらえると嬉しい。

(補足説明) なごみカフェではすべての教員で当番制とし、生徒と関われる機会を増やしている。

新崎会長より

Q、SC,SSW からの指摘や報告は何かあるのか？

A、生徒の困りごとなどをしっかり聞いていただいている状況。

授業には夜間介助員や学習支援員が入り込んでおり、

SC や SSW も重点的配置校でありサポート体制を整えている。

新崎会長より

先生方以外の大人と関わることは生徒の経験にとってプラスになり、すごくよいことだと思う。

生徒がこれから社会に出たとき、認められていると感じる教育を行っていただければと思う。

6. 閉会のあいさつ（准校長より）